

Ⅱ章 JAROの設立と30年のあゆみ

1. 昭和49年(1974年)10月～昭和59年(1984年)3月

■昭和49年度(1974年10月～1975年3月)JAROのあゆみ

1974年10月	15日 社団法人の許可おりる。本格的に活動開始。
1974年11月	22日 理事会 28日 業務委員会 28日 審査委員会
1974年12月	20日 常任理事会 20日 業務委員会
1975年1月	27日 常任理事会 28日 業務委員会
1975年2月	21日 業務委員会 27日 常任理事会
1975年3月	4日 公正取引協議会との連絡会議 5日 審査委員会 28日 業務委員会 31日 常任理事会

■昭和50年度(1975年4月～1976年3月)JAROのあゆみ

1975年4月	7日 行政連絡会 23日 常任理事会
---------	-----------------------

1975年4月	24日 業務委員会
1975年5月	26日 消費者等懇談会(主婦連合会) 27日 業務委員会 28日 常任理事会
1975年6月	5日 理事会 5日 通常総会 5日 総会記念講演 テーマ=成熟社会の広告 講師=評論家 草柳大蔵氏 24日 関係団体協議会(民間自主規制団体) 27日 業務委員会 30日 常任理事会
1975年7月	18日 消費者等懇談会(ベターホーム協会) 23日 業務委員会 30日 常任理事会
1975年9月	26日 常任理事会 30日 業務委員会
1975年10月	28日 業務委員会 30日 常任理事会
1975年11月	19日 シンポジウム テーマ=これからの広告を考える 司会=早稲田大学商学部教授 宇野政雄氏、パネラー3名 26日 常任理事会
1975年12月	1日 行政懇談会 テーマ=健康食品について 5日 在阪理事懇談会 5日 設立1周年記念講演会 テーマ=広告の社会的責任 講師=東海大学教授 清水滋氏 19日 業務委員会 23日 常任理事会

<p>JAN.</p> <p>1976年1月</p>	<p>22日 業務委員会</p> <p>26日 行政連絡会</p> <p>27日 常任理事会</p>
<p>FEB.</p> <p>1976年2月</p>	<p>4日 特殊販売規制法(仮称)の説明会(日本DM協会、日本雑誌広告協会共催) 講師=通商産業省産業政策局消費経済課事務官 安川好一氏、同 曾根政男氏</p> <p>19日 業務委員会</p> <p>25日 関係団体協議会</p> <p>25日 常任理事会</p>
<p>MAR.</p> <p>1976年3月</p>	<p>26日 常任理事会</p> <p>29日 審査委員会</p> <p>31日 業務委員会</p>

■昭和51年度(1976年4月～1977年3月)JAROのあゆみ

<p>APR.</p> <p>1976年4月</p>	<p>22日 常任理事会</p> <p>27日 業務委員会</p>
<p>MAY.</p> <p>1976年5月</p>	<p>12日 ケース懇話会(初会合) 講師=JARO専務理事代行 安達義幸</p> <p>17日 監事会</p> <p>25日 常任理事会</p>
<p>JUN.</p> <p>1976年6月</p>	<p>2日 ケース懇話会 テーマ=新聞の広告倫理活動 講師=朝日新聞社広告管理部広告審査課長 大吉勇三氏</p> <p>4日 理事会</p> <p>4日 通常総会</p> <p>4日 総会記念講演 テーマ=西洋広告事情 講師=日本航空広報室次長 深田祐介氏</p> <p>10日 業務委員会</p>
<p>JUL.</p> <p>1976年7月</p>	<p>7日 常任理事会</p>

<p>1976年7月</p>	<p>8日 ケース懇話会 テーマ=比較広告について 講師=日本コカ・コーラ広報統括部長 大崎直忠氏</p> <p>12日 業務委員会</p> <p>27日 行政連絡会</p> <p>30日 消費者等懇談会(東京都地域婦人団体連盟)</p>
<p>1976年8月</p>	<p>25日 業務委員会</p> <p>26日 審査委員会</p>
<p>1976年9月</p>	<p>8日 ケース懇話会 テーマ=テレビCMの考査 講師=フジテレビジョン営業局CM部部长 平岡昇氏</p> <p>22日 常任理事会</p> <p>24日 業務委員会</p>
<p>1976年10月</p>	<p>6日 ケース懇話会 テーマ=医薬品広告 講師=日本製薬団体連合会広告審査会委員長 水木博男氏</p> <p>12日 国民生活センターとの懇談会</p> <p>25日 常任理事会</p> <p>26日 関係団体協議会(公正取引協議会)</p> <p>26日 業務委員会</p>
<p>1976年11月</p>	<p>9日 ケース懇話会 テーマ=CBBBとBBBの役割 講師=JARO事務局長 佐藤知恭</p> <p>15日 事務所移転</p> <p>17日 シンポジウム テーマ=消費者条例と広告 司会=青山学院大学教授 坂井幸三郎氏、パネラー3名</p> <p>18日 業務委員会</p> <p>26日 常任理事会</p>
<p>1976年12月</p>	<p>7日 消費者等懇談会(日本消費者協会)</p> <p>8日 ケース懇話会 テーマ=家電業界の広告問題 講師=日立家電販売 和田可一氏</p> <p>10日 評議員会</p> <p>17日 常任理事会</p> <p>22日 審査委員会</p>

<p>JAN.</p> <p>1977年1月</p>	<p>20日 業務委員会</p> <p>21日 ケース懇話会 テーマ=デメリット表示と消費者対応戦略 講師=大丸消費科学研究所長 下村寿氏</p> <p>26日 常任理事会</p>
<p>FEB.</p> <p>1977年2月</p>	<p>1日 審査委員会</p> <p>7日 関係団体協議会(民間自主規制団体)</p> <p>17日 ケース懇話会 テーマ=家電の保証書問題 講師=家電広告表示協議会事務局長 中田恒郎氏</p> <p>21日 常任理事会</p>
<p>MAR.</p> <p>1977年3月</p>	<p>14日 業務委員会</p> <p>17日 ケース懇話会 テーマ=クリエイターは生活者の実感を大切に 講師=電通第1クリエイティブ局アシスタント・ディレクター 高橋俊明氏</p> <p>23日 審査委員会</p> <p>24日 消費者等懇談会(日本消費生活コンサルタント協会)</p> <p>25日 常任理事会</p>

■昭和52年(1977年4月～1978年3月)JAROのあゆみ

<p>APR.</p> <p>1977年4月</p>	<p>14日 ケース懇話会 テーマ=苦情を”提言”として企業活動に反映を 講師=西友ストア-消費者室長 志摩達夫氏</p> <p>20日 業務委員会</p> <p>26日 常任理事会</p>
<p>MAY.</p> <p>1977年5月</p>	<p>16日 ケース懇話会 テーマ=米国自動車の比較広告の流れを見る 講師=ジャパン・アド・リサーチ社長 浅井敬三氏</p> <p>19日 監事会</p> <p>19日 常任理事会</p> <p>25日 行政連絡会</p> <p>27日 業務委員会</p>

<p>1977年6月</p>	<p>3日 理事会 3日 通常総会 3日 総会記念講演 テーマ=こんごの日米関係 講師=東京女子大学教授・JARO審査委員会委員 猿谷要氏</p>
<p>1977年7月</p>	<p>4日 業務委員会 6日 ケース懇話会 テーマ=BB&Aセミナー報告 講師=電通広告問題事務局長 指宿忠孝氏、森永乳業広告部マネージャー 原田耕介氏、全国朝日放送営業局部長 小出昭吾氏 17日 常任理事会 22日 業務委員会</p>
<p>1977年8月</p>	<p>25日 消費者等懇談会(主婦連合会)</p>
<p>1977年9月</p>	<p>8日 消費者等懇談会(消費科学連合会) 9日 ケース懇話会(大阪) テーマ=BB&Aセミナー報告 講師=毎日放送番組審議室部長 伊丹要二氏、電通広告問題事務局長 指宿忠孝氏、JARO事務局長 佐藤知恭 14日 ケース懇話会 テーマ=子供とTV 講師=毎日放送番組審議室部長 伊丹要二氏、電通広告問題事務局長 指宿忠孝氏、JARO事務局長 佐藤知恭 19日 業務委員会 27日 常任理事会</p>
<p>1977年10月</p>	<p>6日 審査委員会 12日 ケース懇話会 テーマ=消費者問題神戸会議報告 講師=日本経済新聞社論説委員 内田英夫氏 18日 関係団体協議会(公正取引協議会) 24日 業務委員会 26日 常任理事会 28日 消費者等懇談会(横浜コンシューマーズクラブ)</p>
<p>1977年11月</p>	<p>16日 ケース懇話会 テーマ=主婦のテレビ観 講師=東京のこだま会代表 渡辺光代氏 22日 業務委員会</p>

<p>NOV.</p> <p>1977年11月</p>	<p>24日 常任理事会</p> <p>25日 行政連絡会</p>
<p>DEC.</p> <p>1977年12月</p>	<p>7日 ケース懇話会 テーマ=比較広告 講師=早稲田大学教授 小林太三郎氏</p> <p>19日 業務委員会</p> <p>23日 常任理事会</p>
<p>JAN.</p> <p>1978年1月</p>	<p>23日 業務委員会</p> <p>30日 常任理事会</p>
<p>FEB.</p> <p>1978年2月</p>	<p>7日 行政連絡会</p> <p>7日 ケース懇話会 テーマ=「製造物責任」-欧米の実情を聞く 講師=国民生活センター企画調整室室長補佐 山口収氏</p> <p>8日 消費者等懇談会(東京都地域婦人団体連盟)</p> <p>10日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=78年の消費者行政の課題と展望 講師=経済企画庁国民生活局消費者行政第1課長 吉岡博之氏、同課長補佐 黒川雄爾氏</p> <p>15日 審査委員会</p> <p>23日 関係団体協議会(民間自主規制団体)</p> <p>27日 業務委員会</p> <p>28日 常任理事会</p>
<p>MAR.</p> <p>1978年3月</p>	<p>9日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=改正独禁法のポイントを聞く 講師=公正取引委員会審議官 伊従寛氏</p> <p>15日 評議員会</p> <p>17日 消費者等懇談会(ベターホーム協会)</p> <p>24日 国民生活センターとの懇談会</p> <p>27日 審査委員会</p> <p>29日 ケース懇話会 テーマ=最近の苦情・問い合わせ受付状況と内容の傾向 講師=JARO事務局次長 大吉勇三</p> <p>30日 常任理事会</p>

■昭和53年(1978年4月～1979年3月)JAROのあゆみ

<p>1978年4月</p>	<p>13日 ゼミナール(東京広告協会主催) テーマ=通産省の今後の消費者行政について 講師=通商産業省産業政策局消費経済課長 野崎 紀氏</p> <p>25日 業務委員会</p> <p>26日 消費者等懇談会</p> <p>27日 ケース懇話会 テーマ=放送局の視聴者対応 講師=東京放送視聴者センター部長・幹事 池田 靖氏</p>
<p>1978年5月</p>	<p>9日 ケース懇話会 テーマ=比較広告について 講師=グレイ大広社長 市橋立彦氏</p> <p>18日 審査委員会</p> <p>23日 常任理事会</p> <p>24日 行政連絡会</p> <p>25日 業務委員会</p>
<p>1978年6月</p>	<p>2日 理事会</p> <p>2日 通常総会</p> <p>7日 ケース懇話会 テーマ=子供とテレビの問題 講師=米・マスメディア研究所長 ジョージ・オルソン氏</p> <p>13日 消費者等懇談会(日本消費者協会)</p> <p>27日 業務委員会</p>
<p>1978年7月</p>	<p>13日 ケース懇話会 テーマ=媒体責任について 講師=青山学院大学教授 清水英夫氏</p> <p>13日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=景表法体系と家電の公正競争規約 講師=公正取引委員会経済部企業課長 佐藤一雄氏、家庭電気製品公正取引協議会事務局長 中田恒郎氏</p> <p>14日 消費者等懇談会(日本消費生活コンサルタント協会)</p> <p>24日 業務委員会</p>
<p>1978年8月</p>	<p>28日 業務委員会</p>
<p>1978年9月</p>	<p>7日 審査委員会</p> <p>11日 消費者等懇談会(消費科学連合会)</p>

<p>SEP. 1978年9月</p>	<p>13日 ケース懇話会 テーマ=著作権と肖像権問題 講師=ホリ・プロダクション取締役総務部長 野辺地康夫氏</p> <p>25日 業務委員会</p> <p>29日 消費者等懇談会(主婦連合会)</p>
<p>OCT. 1978年10月</p>	<p>24日 ケース懇話会 テーマ=米国企業と消費者運動 講師=味の素広報室課長 胡麻本久氏</p> <p>25日 関係団体協議会(公正取引協議会)</p> <p>30日 業務委員会</p> <p>31日 常任理事会</p>
<p>NOV. 1978年11月</p>	<p>16日 審査委員会</p> <p>27日 ゼミナール(東京広告協会共催)</p> <p>27日 業務委員会</p> <p>30日 常任理事会</p>
<p>DEC. 1978年12月</p>	<p>7日 行政連絡会</p> <p>18日 業務委員会</p> <p>19日 ケース懇話会 テーマ=変ぼう、米国の消費者運動 講師=日本経済新聞社記者 長谷川秀行氏</p> <p>22日 常任理事会</p>
<p>JAN. 1979年1月</p>	<p>29日 業務委員会</p> <p>30日 常任理事会</p> <p>31日 ケース懇話会 テーマ=広告業の法務活動の役割 講師=博報堂法務部長 松岡洋一郎氏</p>
<p>FEB. 1979年2月</p>	<p>5日 審査委員会</p> <p>19日 業務委員会</p> <p>21日 ケース懇話会 テーマ=米国の訪問販売の実情と企業倫理 講師=アムウェイ社副社長 ウィリアム・ハリディ氏</p> <p>27日 常任理事会</p>
<p>MAR. 1979年3月</p>	<p>1日 消費者等懇談会(東京都地域婦人団体連盟)</p> <p>12日 消費者等懇談会(ベターホーム協会)</p>

1979年3月	13日 評議員会
	13日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=消費者行政が広告に望むもの 講師=経済企画庁国民生活局審議官 谷村昭一氏
	15日 ケース懇話会 テーマ=SP戦略の変遷とキャンペーン反応 講師=日本マーケティング研究所会長 水口健次氏
	26日 業務委員会
	27日 国民生活センターとの懇談会
	29日 審査委員会
	30日 常任理事会

■昭和54年(1979年4月～1980年3月)JAROのあゆみ

1979年4月	1日 関西事務所開設
	13日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=消費者(主婦)から広告に望むもの 講師=ベターホーム協会専務理事 小森あき氏
	23日 業務委員会
	27日 常任理事会
1979年5月	17日 監事会
	17日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=行政と消費者と広告に望むもの 講師=朝日新聞社編集委員 名和太郎氏
	21日 業務委員会
	22日 常任理事会
	23日 行政連絡会
	24日 審査委員会
	28日 ケース懇話会 テーマ=屋外広告物の安全審査について 講師=建設省公園緑地課事務官 藤田博氏
1979年6月	1日 通常総会
	1日 総会記念講演 テーマ=経済社会の変化と広告 講師=慶應義塾大学教授 加藤寛氏
	25日 業務委員会
1979年7月	5日 関係団体協議会(民間自主規制団体)
	11日 常任理事会

<p>1979年7月</p>	<p>19日 ケース懇話会 テーマ=中国の広告・媒体事情 講師=電通第9連絡局次長 山岸竜雄氏、同国際広告局媒体部参事 増田毅氏</p> <p>30日 業務委員会</p>
<p>1979年8月</p>	<p>20日 業務委員会</p>
<p>1979年9月</p>	<p>12日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=これからの消費者問題 講師=国民生活センター理事 岩田幸基氏</p> <p>20日 常任理事会</p> <p>25日 業務委員会</p>
<p>1979年10月</p>	<p>1日 審査委員会</p> <p>2日 消費者等懇談会(日本消費者協会)</p> <p>22日 ケース懇話会 テーマ=表示、広告の適正化について 講師=電通広告問題事務局長 指宿忠孝氏</p> <p>29日 常任理事会</p> <p>30日 関係団体協議会(公正取引協議会)</p>
<p>1979年11月</p>	<p>16日 審査委員会</p> <p>20日 ケース懇話会 テーマ=最新の米国広告事情 講師=日経広告研究所主任研究員 八巻俊雄氏</p> <p>26日 業務委員会</p> <p>28日 消費者等懇談会(消費科学連合会)</p> <p>30日 常任理事会</p> <p>30日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=先進国の消費者政策の動向 講師=公正取引委員会経済部調整課長補佐 山田昭雄氏</p>
<p>1979年12月</p>	<p>7日 行政連絡会</p> <p>24日 業務委員会</p> <p>24日 常任理事会</p>
<p>1980年2月</p>	<p>4日 業務委員会</p> <p>15日 審査委員会</p> <p>20日 常任理事会</p>

<p>FEB. 1980年2月</p>	<p>27日 ケース懇話会 テーマ=情報公開法 講師=日本民間放送連盟編集長 河野昌之氏</p>
<p>MAR. 1980年3月</p>	<p>6日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=消費者、企業、行政の合意形成の進め方 講師=神戸新聞社東京支社長 千葉俊彦氏</p> <p>10日 評議員会</p> <p>10日 審査委員会</p> <p>17日 業務委員会</p> <p>25日 常任理事会</p> <p>27日 ケース懇話会 テーマ=最近の景品規制の問題点 講師=公正取引委員会取引部 景品表示指導課長 矢部丈太郎氏</p>

■昭和55年(1980年4月～1981年3月)JAROのあゆみ

<p>APR. 1980年4月</p>	<p>7日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=財政再建、今後の展望と課題 講師=日本経済新聞社論説委員 松田修氏</p> <p>21日 業務委員会</p> <p>25日 ケース懇話会 テーマ=生活意識から見た80年代の展望 講師=電通マーケティング局研究開発部長 竹内克己氏</p> <p>30日 常任理事会</p>
<p>MAY. 1980年5月</p>	<p>7日 監事会</p> <p>19日 業務委員会</p> <p>21日 常任理事会</p> <p>23日 審査委員会</p> <p>27日 行政連絡会</p>
<p>JUN. 1980年6月</p>	<p>6日 理事会</p> <p>6日 通常総会</p> <p>6日 総会記念講演 テーマ=検事の作文 講師=一橋大学名誉教授・JARO審査委員会副委員長 植松正氏</p> <p>25日 関係団体協議会(民間自主規制団体)</p> <p>30日 業務委員会</p>

<p>1980年7月</p>	<p>4日 ケース懇話会 国民生活センターテスト施設を見学</p> <p>22日 常任理事会</p> <p>22日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=独禁法からみた流通関係の諸問題 講師=公正取引委員会取引部取引課長 河村穰氏</p> <p>25日 ケース懇話会 テーマ=薬事法、広告基準の改正と運用 講師=厚生省薬務局広告専門官 斎藤勲氏</p> <p>28日 業務委員会</p>
<p>1980年9月</p>	<p>1日 業務委員会</p> <p>25日 行政連絡会</p> <p>25日 ケース懇話会 テーマ=変ぼうする80年代のテレビ 講師=博報堂テレビラジオ局開発部長 乾直明氏</p> <p>26日 審査委員会</p> <p>30日 常任理事会</p>
<p>1980年10月</p>	<p>6日 業務委員会</p> <p>6日 審査委員会</p> <p>28日 関係団体協議会(公正取引協議会)</p> <p>29日 常任理事会</p>
<p>1980年11月</p>	<p>4日 業務委員会</p> <p>27日 消費者等懇談会(消費科学連合会)</p> <p>27日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=環境変化の中での新しい生活設計 講師=経済企画庁国民生活調査課長 香川勉氏</p> <p>28日 常任理事会</p>
<p>1980年12月</p>	<p>1日 業務委員会</p> <p>5日 審査委員会</p> <p>9日 行政連絡会</p> <p>11日 ケース懇話会 テーマ=広告、80年の特色と81年の展望 講師=日経広告研究所主任研究員 八巻俊雄氏</p> <p>19日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=広告取引の実態について 講師=公正取引委員会経済部調査課長 小松原茂郎氏</p> <p>23日 常任理事会</p>

<p>1981年1月</p>	<p>17日 関西事務所移転 19日 業務委員会</p>
<p>1981年2月</p>	<p>20日 業務委員会 25日 審査委員会 27日 常任理事会</p>
<p>1981年3月</p>	<p>10日 ケース懇話会 テーマ=肖像権と広告 講師=内閣官房審議官 大家重夫氏 11日 評議員会 26日 業務委員会 31日 常任理事会</p>

■昭和56年(1981年4月～1982年3月)JAROのあゆみ

<p>1981年4月</p>	<p>8日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=消費者行政の現状と課題 講師=経済企画庁消費者行政第1課長 菅野剛氏 16日 ケース懇話会 テーマ=最新のワシントン情報 講師=日本経済新聞社政治部長 一木豊氏 27日 業務委員会 30日 常任理事会</p>
<p>1981年5月</p>	<p>11日 監事会 12日 ケース懇話会 テーマ=成熟社会の消費市場 講師=日本マーケティングシステム代表取締役 鳥居直隆氏 26日 行政連絡会 28日 業務委員会 28日 常任理事会</p>
<p>1981年6月</p>	<p>5日 理事会 5日 通常総会 5日 総会記念講演 テーマ=豊かさを吸い取るもの—財政赤字と技術進歩のパラドックス— 講師=千葉大学教授・JARO審査委員会委員 伊東光晴氏 15日 業務委員会</p>

<p>1981年6月</p>	<p>22日 審査委員会</p> <p>24日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝女の時代と広告 講師＝商品科学研究所長 三枝佐枝子氏</p>
<p>1981年7月</p>	<p>7日 ケース懇話会 テーマ＝訪問販売業の現状と対策 講師＝日本訪問販売協会事務局長 秋本正清氏</p> <p>21日 常任理事会</p> <p>22日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝広告・表現規制の動向と問題点 講師＝公正取引委員会景品表示指導課長 波光巖氏</p> <p>27日 業務委員会</p>
<p>1981年8月</p>	<p>24日 業務委員会</p>
<p>1981年9月</p>	<p>21日 業務委員会</p> <p>28日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝広告の法律問題について 講師＝弁護士 川越憲治氏</p> <p>30日 常任理事会</p>
<p>1981年10月</p>	<p>2日 審査委員会</p> <p>8日 関西JAROの会 テーマ＝あなたの広告は大丈夫ですか 講師＝元公正取引委員会委員 柿沼幸一郎氏、JARO業務委員長 下谷泉</p> <p>27日 常任理事会</p> <p>29日 業務委員会</p> <p>29日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝日本経済の景気と課題 講師＝経済企画庁内国調査第一課長 守屋友一氏</p>
<p>1981年11月</p>	<p>4日 ケース懇話会 テーマ＝高齢化社会福祉と広告 講師＝日経広告研究所主任研究員 八巻俊雄氏</p> <p>18日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝経営的詐欺罪新設の問題性 講師＝法政大学法学部教授 吉川経夫氏</p> <p>20日 業務委員会</p> <p>30日 常任理事会</p>
<p>1981年12月</p>	<p>7日 審査委員会</p> <p>10日 行政連絡会</p>

<p>DEC!</p> <p>1981年12月</p>	<p>11日 ケース懇話会 テーマ=常用漢字表の実施について 講師=文化庁文化部国語課長 室屋晃氏</p> <p>14日 業務委員会</p> <p>21日 常任理事会</p>
<p>JAN.</p> <p>1982年1月</p>	<p>25日 業務委員会</p>
<p>FEB.</p> <p>1982年2月</p>	<p>22日 業務委員会</p> <p>24日 常任理事会</p> <p>25日 関西JAROの会 テーマ=著作権と広告—最近の事例から 講師=内閣審議官 大家重夫氏、JARO業務委員長 下谷泉</p>
<p>MAR.</p> <p>1982年3月</p>	<p>1日 消費者等懇談会(東京都地域婦人団体連盟)</p> <p>12日 業務委員会</p> <p>23日 審査委員会</p> <p>24日 ケース懇話会 テーマ=消費タイプと購買者心理 講師=東芝コンサルタント 山田正吾氏</p> <p>31日 常任理事会</p>

■昭和57年(1982年4月～1983年3月)JAROのあゆみ

<p>APR.</p> <p>1982年4月</p>	<p>19日 JAROの会 テーマ=広告と独占禁止法 講師=公正取引委員会委員長 橋口収氏 テーマ=最近の苦情事情 講師=JARO業務委員長 下谷泉氏</p> <p>28日 常任理事会</p> <p>30日 業務委員会</p>
<p>MAY.</p> <p>1982年5月</p>	<p>7日 監事会</p> <p>24日 業務委員会</p> <p>24日 常任理事会</p>
<p>JUN.</p> <p>1982年6月</p>	<p>1日 行政連絡会</p> <p>4日 理事会</p> <p>4日 通常総会</p>

<p>1982年6月</p>	<p>4日 総会記念講演 テーマ = 低成長時代の広告文化 講師 = 東京大学教養学部教授 木村尚三郎氏</p> <p>21日 業務委員会</p> <p>24日 関係団体協議会 (民間自主規制団体)</p> <p>28日 審査委員会</p> <p>28日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ = 青少年保護条例と広告問題 講師 = 一橋大学教授 堀部政男氏</p>
<p>1982年7月</p>	<p>23日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ = 公正取引と広告業界 講師 = 慶應義塾大学教授 金子晃氏</p> <p>26日 業務委員会</p> <p>28日 常任理事会</p>
<p>1982年8月</p>	<p>30日 業務委員会</p>
<p>1982年9月</p>	<p>20日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ = 57年度経済白書の諸問題 講師 = 経済企画庁内国調査第一課長 勝村担郎氏</p> <p>22日 常任理事会</p> <p>28日 業務委員会</p> <p>29日 媒体JARO情報連絡会 (関西)</p>
<p>1982年10月</p>	<p>13日 関西JAROの会 テーマ = わが業界はこうして広告の姿勢を正している 講師 = 全国家庭電気製品公正取引協議会 中田恒郎氏、化粧品公正取引協議会 藤井実造氏、自動車公正取引協議会 南淳介氏</p> <p>18日 業務委員会</p> <p>25日 審査委員会</p> <p>26日 東京都生活文化局との懇談会</p> <p>27日 常任理事会</p> <p>29日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ = 改正商法の利益供与をめぐる問題 講師 = 弁護士 神崎武法氏</p>
<p>1982年11月</p>	<p>26日 関係団体協議会 (公正取引協議会)</p> <p>29日 業務委員会</p> <p>29日 常任理事会</p>

<p>DEC!</p> <p>1982年12月</p>	<p>21日 行政連絡会</p> <p>27日 常任理事会</p>
<p>JAN.</p> <p>1983年1月</p>	<p>27日 媒体JARO情報連絡会 (関西)</p> <p>28日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=最近の消費者行政について 講師=公正取引委員会景品表示指導課長 山田昭雄氏</p> <p>31日 業務委員会</p>
<p>FEB.</p> <p>1983年2月</p>	<p>28日 業務委員会</p> <p>28日 常任理事会</p>
<p>MAR.</p> <p>1983年3月</p>	<p>7日 審査委員会</p> <p>28日 業務委員会</p> <p>29日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=最近の消費者運動と広告 講師=主婦連合副会長 高田ユリ氏</p> <p>30日 常任理事会</p>

■昭和58年(1983年4月～1984年3月)JAROのあゆみ

<p>APR.</p> <p>1983年4月</p>	<p>14日 消費者等懇談会 (主婦連合会)</p> <p>22日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=クレジット産業の現状と問題点 講師=通商産業省政策局消費経済課長 牧野力氏</p> <p>25日 常任理事会</p> <p>27日 業務委員会</p>
<p>MAY.</p> <p>1983年5月</p>	<p>16日 監事会</p> <p>18日 関西JAROの会 テーマ=いま米国で何かが起きている 講師=JARO顧問 柳田修治郎</p> <p>19日 常任理事会</p> <p>20日 ゼミナール (東京広告協会共催) テーマ=クレジット産業と広告 講師=日本経済新聞社流通経済部長 牧田正一路氏</p> <p>25日 媒体JARO情報連絡会 (関西)</p>

<p>1983年6月</p>	<p>1日 行政連絡会 3日 通常総会 3日 総会記念講演 テーマ=ひと・組織・開発 講師=経済評論家 内橋克人氏 6日 業務委員会 20日 業務委員会</p>
<p>1983年7月</p>	<p>4日 審査委員会 5日 関係団体協議会(公正取引協議会) 11日 仙台JAROの会 テーマ=JAROの機構と苦情事例の紹介 講師=JARO業務委員長 下谷泉、事務局長 横山京輔 19日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=ニューメディアの現状と今後の施策について 講師=郵政省電気通信政策局データ通信課長 内海善雄氏 20日 常任理事会 25日 業務委員会</p>
<p>1983年8月</p>	<p>27日 東京JAROの会 テーマ=いまアメリカに何かが起こっている 講師=JARO顧問 柳田修治郎</p>
<p>1983年9月</p>	<p>22日 札幌JAROの会 テーマ=JAROの機構と苦情事例の紹介 講師=JARO業務委員長 下谷泉、総務部会長 安達義幸</p>
<p>1983年10月</p>	<p>19日 業務委員会 20日 常任理事会 26日 岡山JAROの会 テーマ=JAROの機構と苦情事例の紹介 講師=JARO業務委員長 下谷泉、関西部会長 木村芳雄 26日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=通産省のニュー・メディア構想と対策 講師=通商産業省機械情報産業局電子政策課長 関収氏</p>
<p>1983年11月</p>	<p>3日 審査委員会 24日 業務委員会 25日 常任理事会 27日 ゼミナール(東京広告協会共催) テーマ=今後の電気通信政策について 講師=郵政省電気通信政策局業務課長 品川万里氏</p>

<p>DEC.</p> <p>1983年12月</p>	<p>21日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝貸金業規制法令の施行と広告 講師＝大蔵省銀行局中小金融課長 朝比奈秀夫氏</p> <p>28日 業務委員会</p> <p>30日 常任理事会</p>
<p>JAN.</p> <p>1984年1月</p>	<p>5日 審査委員会</p> <p>8日 行政連絡会</p> <p>14日 媒体JARO情報連絡会（関西）</p> <p>15日 常任理事会</p> <p>23日 業務委員会</p> <p>30日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝貸金業規制法施行後における業界の実態と広告の自主規制について 講師＝全国庶民金融業協会連合会常務理事兼東京協会副会長 小泉智正氏</p>
<p>FEB.</p> <p>1984年2月</p>	<p>20日 業務委員会</p> <p>29日 常任理事会</p> <p>29日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝消費構造の変化と広告 講師＝経済企画庁国民生活局長 及川昭伍氏</p>
<p>MAR.</p> <p>1984年3月</p>	<p>2日 審査委員会</p> <p>26日 業務委員会</p> <p>28日 常任理事会</p> <p>29日 ゼミナール（東京広告協会共催） テーマ＝不動産取引と広告 講師＝建設省計画局不動産課長 斎藤衛氏</p>